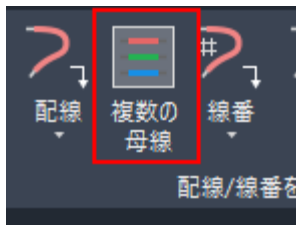


三相線作図。複数の母線を使用しましょう



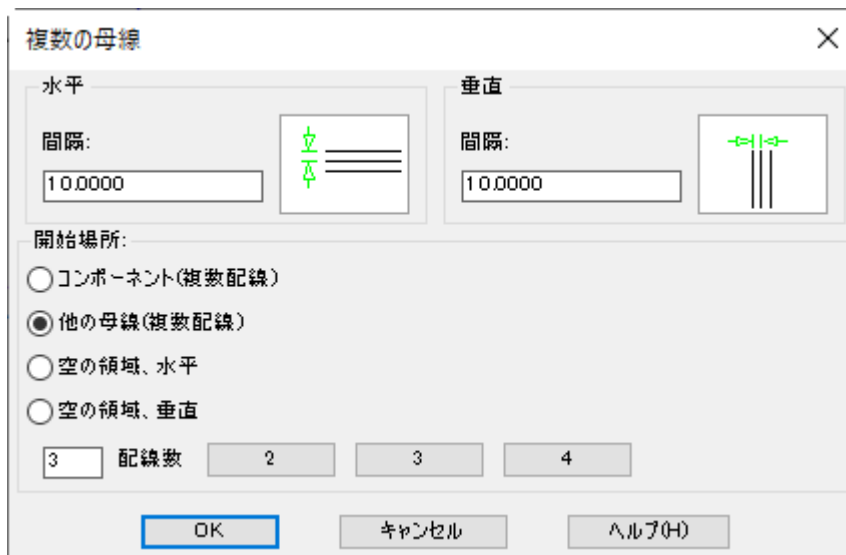
三相線を作図するのは意外に大変な作業です。単純なコピーでは終点が揃いません。

複数の母線コマンドは、複相の配線を一括で作図します。分岐も可能です。

三相に限らず配線数を制御可能です。

複数の母線は、配線の始点と本数を設定してから作図を行います。配線画層選択は始点決定前にコマンドラインから選択可能です。

① コマンドを実行しダイアログを開きます。



② 間隔 水平・垂直には配線の間隔を入力します。

手入力で配線間隔を入力します。水平・垂直で異なる値を入力可能です。

デフォルトは図面プロパティの 図面形式タブー複数配線間の間隔 にて設定します。

③ 開始場所 配線の始点をどこにするかを選択します。

コンポーネント・・・回路図コンポーネントから配線を開始します。

配線接続方向が同一の端子から引き出します。

他の母線・・・他の複相線から分岐します。

空の領域、水平・・・水平に複相線を何も無い場所から開始します。

空の領域、垂直・・・垂直に複相線を何も無い場所から開始します。

④ 配線数は数字のボタンを押すか、直接本数を入力します。

⑤ OK ボタンを押します。

- ⑥ コマンドラインの 配線タイプ(T) をクリックして配線画層を切り替えできます。
- ⑦ 開始位置を指示して配線作図を始めます。
- ⑧ 単独の配線同様折れ曲がりが可能です。水平から垂直にとカーソルを移動します。
- ⑨ コマンドラインにオプションが表示されます。各キーを入力します。
配線タイプ…配線画層変更です。
継続…最初の折れ曲がりを決定し作図を続けます。
反転…折れ曲がり方向を調整します。
- ⑩ 継続しない場合、左クリックで作図終了です。